

ジャガイモ\*1 (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	そ う か 病	粉 状 そ う か 病	疫 病	夏 疫 病	菌 核 病	灰 色 か び 病	黒 あ ざ 病	黒 あ し 病	青 枯 病	軟 腐 病	塊 茎 褐 色 輪 紋 病
バイオキパー水	生物農薬	-		*C	-											◎
I Cボルドー66DFL	無機	M1		-	-			◎								
Zボルドー水	無機	M1		-	-			◎								◎
クプロシールドFL	無機	M1		-	-			◎								◎
コサイド3000DF	無機	M1		*a	-	◎			◎							◎
ドイツボルドーA水	無機	M1		-	-			◎								
ジーファイン水	無機・無機	NC・M1		1	-			◎								
アミスター20FL	Q o I	11		*a	1							◎				
				*b	1					◎						
				7	3			◎	◎							
バシタック水75	アミド	7		*d	1						◎					
モンカットFL40	アミド	7		*a	1						◎					
レーバスFL	アミド	40		7	2			◎								
アグレプト液	抗生物質	25		*a	1	◎							◎			
				7	5								◎			
バリダシン液5	抗生物質	U18		*a	1							◎				
				*d	1					◎						
				3	6						◎	◎				
バリダシン粉D L	抗生物質	U18		*a	1						◎					
スミレックス水	ジカルボキシミド	2		21	4					◎						
ロブラール水	ジカルボキシミド	2		*a	1							◎				
				1	4				◎	◎						
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		7	5					◎						
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		*a	1							◎				
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		7	10			◎	◎							
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		7	10			◎	◎							
ヨネボン水	有機銅	M1		1	4			◎								◎
				*a	1	◎										
リゾレックス水	有機リン	14		*d	1							◎				
エトフィンFL	他	22		7	4			◎								
オラクル顆水	他	21		*a	1		◎									
オラクル粉	他	21		*a	1		◎									
カナメFL	他	7	劇	*a	1							◎				
スターナ水	他	31		7	5											◎
セイビアーFL20	他	12		*a	1	◎										
ダコニール1000FL	他	M5		7	5			◎	◎							

ジャガイモ

ジャガイモ\*1 (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	そ う か 病	粉 状 そ う か 病	疫 病	夏 疫 病	菌 核 病	灰 色 か び 病	黒 あ ざ 病	黒 あ し 病	青 枯 病	軟 腐 病	塊 茎 褐 色 輪 紋 病
ネビジン粉	他	36		*b	1	◎	◎									
フェスティバル水	他	40			14	3		◎								
フロンサイドSC	他	29		*a	1	◎	◎									
					7	4		◎	◎	◎						
フロンサイド水	他	29		*a	1	◎	◎									◎
					14	4		◎	◎	◎						
フロンサイド粉	他	29		*a	1	◎	◎									
ベルコート水	他	M7			7	5			◎							
ライメイFL	他	21			7	4		◎								
ランマンFL	他	21			7	4		◎								
フォリオゴールドFL	アミド・他	4・ M5			7	3		◎								
アグリマイシン-100水	抗生物質・抗 生物質	41・ 25		*a	1	◎							◎			
					3	5		◎								◎
アタッキン水	抗生物質・ベン ゾイミダゾール	25・ 1		*a	1	◎						◎	◎			
ラビライト水	ベンゾイミダゾール・有機硫黄	1・ M3			14	4		◎								
リドミルゴールドMZ顆水	有機硫黄・ア ミド	M3・ 4			30	1		◎								
ゾーベックエンカン ティアSE	他・Q○I	49・ 11			14	2		◎								
ホライズンDF	他・Q○I	27・ 11			14	4		◎	◎							
カセット水	他・抗生物質	31・ 24		*a	1	◎										
					7	3										◎
カーゼートPZ水	他・有機硫黄	27・ M3			7	4		◎								
カンパネラ水 ベネセット水	他・有機硫黄	40・ M3			7	5		◎								
カーニバル水	他・他	40・ M5			14	3		◎	◎							
ダイナモ顆水	他・他	21・ 27			7	4		◎								
ブリザード水	他・他	27・ M5			7	4		◎	◎		◎					
プロポーズ顆水	他・他	40・ M5			7	5		◎	◎							
バトファイター顆水	他・他	27・ 40			7	4		◎								

\*1: ジャガイモ…バレイシヨ

\*a: 植付前 \*b: 植付時 \*c: 発病前～発病初期 \*d: 貯蔵前又は植付前

ジャガイモ

ジャガイモ\*1(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	ジ ヤ ガ イ モ シ 類	ヨ ト ウ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ ガ 類	オ オ タ バ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	※ ナス トビ ハム シ	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ 類	ケ ラ	セ ン チ ユ ウ 類
マッチ乳	I GR	15		7	2				◎						
ビーラム粒	アミド			*a	1										ア
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*a	1	◎									グ
マイクロナボン水85	カーバメート	1A	劇	7	3		◎	◎					オ		
ネマキック粒	殺線虫	1B		*a	1										ア
モベントFL	殺ダニ	23		7	3	◎									
フェニックス顆水	ジ'アミト'	28		1	2				◎						
ベネビアOD	ジ'アミト'	28		7	3	◎			◎						
ディアナSC	スピノシ	5		1	2				◎						
アクタラ顆溶	ネコチノイト'	4A		14	3	◎						◎	◎		
アクタラ粒5	ネコチノイト'	4A		*b	1	◎						◎			
アドマイヤー顆水	ネコチノイト'	4A	劇	14	2	◎							オ		
アドマイヤー1粒	ネコチノイト'	4A		*b	1	◎									
アルバリン顆溶	ネコチノイト'	4A		7	2	ワ									
ダントツ溶	ネコチノイト'	4A		7	3	◎							◎		
ダントツ粒	ネコチノイト'	4A		*b	1	◎									
バリアード顆水	ネコチノイト'	4A	劇	7	3	◎									
ベストガード溶	ネコチノイト'	4A		14	4	◎									
モスピラン顆溶	ネコチノイト'	4A	劇	7	3	◎	◎						◎		
モスピラン粒	ネコチノイト'	4A		*b	1	◎									
パダンSG溶	ネイストキシ	14	劇	7	6		若								
アグロスリン水	ピレスロイト'	3A	劇	7	4	◎									
アデオン乳	ピレスロイト'	3A		14	4	◎							◎		
ガードバイトA粒	ピレスロイト'	3A		*c	4					◎					
テルスター水	ピレスロイト'	3A		3	4	◎									
トレボンMC	ピレスロイト'	3A		7	3	◎									
トレボン乳	ピレスロイト'	3A		7	3	◎									
オルトラン水	有機リン	1B		30	2	◎	◎	◎					幼		
オルトラン粒	有機リン	1B		*b	1	◎									
ジェイエース溶	有機リン	1B		30	2	◎		◎					オ		
スミチオン乳	有機リン	1B		3	6	◎							◎		
ダイアジノン乳40	有機リン	1B	劇	7	3	◎							テ		
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*a	1					◎				◎	
ウララDF	他	29		7	2	◎									
コルト顆水	他	9B		1	3	◎									
チェス顆水	他	9B		14	3	◎									
トランスフォームFL	他	4C		7	3	◎									
ハチハチ乳	他	21A	劇	1	2	◎						◎			
ピレスコ顆水	他	4C		7	3	◎									
プレオFL	他	UN		7	2				◎	◎					

\*1: ジャガイモ…バレイシヨ

\*a: 植付前 \*b: 植付時 \*c: 生育初期

ア: ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、ジャガイモシストセンチュウ、ジャガイモシロシストセンチュウ オ: オオニジュウヤホシントウ

グ: ネグサレセンチュウ テ: テントウムシダマシ ワ: ワタアブラムシ

若: 若齢幼虫 幼: テントウムシダマシ幼虫

※: ナスノミハムシとナストビハムシは同じ害虫

## ジャガイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発生活長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	普通											
	乾腐病											
虫	アブラムシ類											
害	ニジュウヤホシテントウ											

ジャガイモ収穫後はナス・トマトに寄生

作型 — ; 栽培期 — ; 収穫期  
 病害虫発生活長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
そうか病	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>種いもは健全なものを選ぶ。</li> <li>種いもを切断する前に、次の薬剤のいずれかを処理する。                      アタッキン水和剤                      40～60倍 5～10秒浸漬                      40倍 2.5～30散布/                      種いも100kg                      フロンサイド水和剤                      100倍 瞬間浸漬</li> <li>酸度矯正を行う。</li> <li>常発畑では土壤消毒を行うか(土壤消毒の項参照)、次の薬剤のいずれかを全面土壤混和する。                      ネビジン粉剤 60kg/10 a                      フロンサイド粉剤 30～40kg/10 a</li> </ol>	中性、アルカリ性土壤や、通気性よく、乾燥しやすい土壤にてやすい。 未分解有機物を施用すると多発しやすい。
粉状そうか病	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>種いもは健全なものを選ぶ。</li> <li>連作をさける。</li> <li>排水不良畑での栽培をさける。</li> <li>常発畑では土壤消毒を行うか(土壤消毒の項参照)、次の薬剤のいずれかを全面土壤混和する。                      ネビジン粉剤 60kg/10 a                      フロンサイド粉剤 30～40kg/10 a</li> </ol>	低温、多湿の年に多発しやすい。鶏ふん施用は発生が多くなる。そうか病とは逆に酸性土壤で発生しやすい。
疫病	植付前 6月上旬～中旬	<ol style="list-style-type: none"> <li>種いもは健全なものを用いる。</li> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。                      アグリマイシン-100(水) 1000倍                      アミスター20フロアブル                      3000～4000倍                      プロポーズ顆粒水和剤                      750～1000倍                      ホライズンドライフロアブル                      1000～2500倍                      リドミルゴールドMZ(顆水)                      500～1000倍</li> </ol>	ジャガイモ、トマトに発生し、被害種いもによって伝搬される。 低温(20℃前後)で雨の多い梅雨期に発生する。

## ジャガイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒あざ病	植付前	<p>1. 種いもは健全なものを選ぶ。</p> <p>2. 種いもを次の薬剤のいずれかで処理する。</p> <p>アタッキン水和剤 40倍 5～10秒浸漬、または 2.5～30散布/種いも100kg</p> <p>バシタック水和剤75 70～100倍液 5～20秒浸漬</p> <p>モンカットフロアブル40 100～200倍液 瞬時～10分浸漬</p> <p>ロブラール水和剤 125倍 30散布/種いも100kg</p>	本病はリゾクトニア菌による。
軟腐病	植付前	<p>1. 湿地では排水につとめる。</p> <p>2. 窒素過多とならぬよう注意する。</p>	ほとんどの野菜類に発生し、病原細菌は土中で越冬し、傷口から侵入する。 罹病した塊茎は貯蔵中に発病し、周囲の健全いもに感染するので、貯蔵前の選別を徹底する。
	生育期	<p>・発生が認められたら初期に次のいずれかの薬剤を散布する。</p> <p>アグリマイシン-100(水) 1000～1600倍</p> <p>スターナ水和剤 1000倍</p> <p>Zボルドー(水) 500倍</p>	
	収穫期	<p>・収穫時はできるだけいもを傷つけないようにし、無傷のいもだけを貯蔵する。</p>	
ウイルス病	植付前	<p>・種いもは国の検査に合格したものをを用いる。</p>	葉巻病、モザイク病、萎縮病などがある。
	生育期	<p>・アブラムシ類を防除する(アブラムシの項参照)。</p>	
アブラムシ類	植付時	<p>・次の薬剤を植溝に施用して土壌混和する。</p> <p>モスピラン粒剤 3～6kg/10 a</p>	
	生育期	<p>・発生をみたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アディオン乳剤 2000～3000倍</p> <p>アドマイヤー顆粒水和剤 5000～15000倍</p> <p>ウララDF 2000～4000倍</p> <p>オルトラン水和剤 1000～1500倍</p> <p>ダイアジノン乳剤40 1000倍</p> <p>モスピラン顆粒水溶剤 2000～6000倍</p>	

## ジャガイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ジャガイモガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼虫発生期に次の薬剤のいずれかを茎葉に散布する。</li> </ul> オルトラン水和剤 1000～1500倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	年に5～6回くらい発生する。茎葉の被害は目立たないが、いもでは貯蔵中に大被害を与える。
	収穫後	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発生地では残茎葉を処分する。</li> <li>2. 掘り採ったいもは、すみやかにコモなどで覆い、露出させておかない。</li> <li>3. 屑いもは放置しないで、土中に埋没する。</li> </ol>	
ヨトウムシ	5月中旬～下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生をみたら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> </ul> オルトラン水和剤 1000倍 ジェイエース水溶剤 1000倍	
ネキリムシ類	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の薬剤を散布し、土と混合する。</li> </ul> ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a	
テントウムシダマシ類(ニジュウヤホシテントウ・オオニジュウヤホシテントウ)	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生をみたら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> </ul> オルトラン水和剤 <sup>#1</sup> 1000倍 ダイアジノン乳剤 <sup>#2</sup> 1000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍	幼虫は葉裏に寄生加害しているのので、薬剤は葉裏によくかける。 ジャガイモを加害したあとナス、トマト、ゴボウなどに移り、被害を与える。 <sup>#1</sup> テントウムシダマシ幼虫で登録 <sup>#2</sup> テントウムシダマシで登録
ハリガネムシ	植付前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。</li> </ul>	